

かけはし



全国自治体病院協議会・賛助会広報誌
<http://www.jmha-p.net/>



撮影：賛助会 第1ブロック 平野武信氏

自治体病院とともに50年

理念
公益社団法人自治体病院協議会と自治体病院の発展に寄与することを目指します

- 協議会と協議会所属病院が行う事業に対し協力します
- 会員を対象とする研修会等を実施します
- その他本会の目的達成のため必要な事業を行います

病院事業に関わる事業を営む者で本会の主旨を十分に理解した法人です

巻頭
公益社団法人 全国自治体病院協議会
小熊 豊 副会長 インタビュー

- 新入会社紹介
- 新たに加わった3社の紹介

賛助会活動報告／賛助会会員名簿

新入会社紹介



第5ブロック

会社名：株式会社ジェイ・トラスト

会社HP : <http://www.j-trust.co.jp>

弊社は主に海外メーカーの画像診断分野の医療装置及びその周辺機器の販売と保守メンテナンスの分野をご得意としております。医療機器の更新や新規導入のご計画がございましたら、どんな事でもお問い合わせ下さい。

第2ブロック

会社名：東西化学産業株式会社

会社HP : <http://www.tohzai.co.jp/>

総合水処理メーカーとして、1957年の創業以来、「水を究め、水を活かす」をテーマに今日まで事業を継続して参りました。水処理は東西化学産業にお任せください。各種水処理装置・薬剤を取り揃えております。



公益社団法人 全国自治体病院協議会と共に50年 全国自治体病院協議会・賛助会

当賛助会は、公益社団法人 全国自治体病院協議会への協力と自治体病院の発展に寄与することを目的としています。

第1 ブロック

医療機器部門 (27社)

協和医科器械(株)
グリーンホスピタルサプライ(株)
(株)グリーンメディカル
コヴィディエンジャパン(株)
コニカミノルタジャパン(株)
サカ化成工業(株)
サクラ精機(株)
GEヘルスケア・ジャパン(株)
シーメンスヘルスケア(株)
シスメックス(株)
(株)島津製作所
すみれ医療(株)
(株)タカラゾノ
(株)千代田テクノル
テルモ(株)
日機装(株)
ニプロ(株)
日本光電工業(株)
(株)日立製作所
(株)フリップスエレクトロニクスジャパン
フクダ電子(株)
富士電機(株)
富士フィルムメディカル(株)
ホギメディカル
美和医療機(株)
村中医療器(株)
(株)理合

第2 ブロック

設備部門 (33社)

アーパス技研工業(株)
IHI運搬機械(株)
(株)IHI汎用ボイラ
(株)AiHO
アイホン(株)
アクアス(株)
アスピル(株)
(株)アルミックス
(株)イトーキ
(株)S&Sエンジニアリング
(株)荏原製作所
(株)岡村製作所
(株)ケアコム
コクヨ(株)
斎久工業(株)
(株)三晃空調
三建設備工業(株)
シーホネンス(株)
(株)スローライフジャパン
(株)セントラルユニ
ダイキン工業(株)
ダイタン(株)
高砂熱学工業(株)
東西化学産業(株)
(株)日本シユーター
日本調理機(株)
(株)パートナ
バラウントベッド(株)
不二サッシ(株)
(株)フジマック
フランスベッド(株)
文化シヤッター(株)
YKKAP(株)

第3 ブロック

設計建築部門 (25社)

(株)梓設計
(株)石本建築事務所
(株)伊藤喜三郎建築研究所
(株)奥村組
鹿島建設(株)
(株)教育施設研究所
(株)楠山設計
(株)久米設計
(株)佐藤総合計画
(株)昭和設計
(株)大建設計
大成建設(株)
(株)竹中工務店
(株)田中建築事務所
(株)内藤建築事務所
西松建設(株)
(株)日建設計
(株)藤木工務店
(株)フジタ
(株)松田平田設計
三井住友建設(株)
(株)村田相互設計
明豊ファシリティワークス(株)
(株)山田綜合設計
(株)横河建築設計事務所

第4 ブロック

製薬部門 (12社)

エーサイ(株)
大塚製薬(株)
協和発酵キリン(株)
興和(株)
参天製薬(株)
大鵬薬品工業(株)
武田薬品工業(株)
田辺三菱製薬(株)
東和薬品(株)
日本ケミファ(株)
Meiji Seika ファルマ(株)
持田製薬(株)

第5 ブロック

資材サービス部門 (32社)

(株)アートネイチャー
(株)アイシーエム
(株)アイセイ薬局
(株)アベックス
イオンデライト(株)
(株)医用工学研究所
(株)HRシングフォニー
SBSロジコム(株)
(株)エヌジーシー
(株)エフエスユニマネジメント
(株)LSIメディエンス
クオール(株)
(株)サン・システム
(株)サンワ
(株)ジェイ・トラスト
(株)ジェイワールドトラベル
(株)じほう
(株)ジャパンビバレッジ東京

総会員数129社 平成29年5月1日現在

※各会員企業へのご連絡・ご相談は…

下記URLよりご確認下さい
全国自治体病院協議会・賛助会
ホームページ <http://www.jmha-p.net/>



第2ブロック

会社名：IHI運搬機械株式会社

会社HP : <http://www.iuk.co.jp>

弊社は自走式、機械式駐車場の営業、設計、建設やPFI事業を行っており、病院様への納入実績も多数あります。今後、新設・改修等で駐車場のご相談がありましたら、どんな事でもお問い合わせ下さい。

平成29年度三役会社

会長会社 (株)伊藤喜三郎建築研究所
副会長会社(会計) (株)タカラゾノ
副会長会社(総務) (株)エヌジェーシー

小熊 豊 副会長 インタビュー



聞き手：全国自治体病院協議会・賛助会
宮田賢次 副会長
藤本陽子 副会長
田中正員 広報委員

■副会長としての使命と抱負

本日は、お忙しいところお時間を作っていただきありがとうございます。早速ですが全国自治体病院協議会の副会長につかれて、使命と抱負をお聞かせ願えればと思います。

■小熊副会長

平成22年に副会長に就任しました。副会長としての使命は、邊見会長が国の医療の在り方を苦労されていろいろ努力されていますので、それをお助けて邊見会長が所用でできないようなことを我々が代わって行い、会長の思いを皆さんにお伝えすることです。

他の三副会長と一緒に、組織がうまくいくように会長が前面に出て戦っていますので、我々はその後ろで、その調整と補助を行っています。私が一番部会の担当が多く、例えば放射線、臨床検査、栄養、リハビリ、臨床工学、などの担当副会長なので、全自病としてこういうふうな方針でこうやるとか、あるいはこういうことで今ディスカッションしているとか、そのようなこともちょっとお伝えできるので、いいかなと思ってやっているんです。彼らに伝わったことがまた病院長とか、会員の院長先生方など周りにも伝わっていてくれればいいかなと思って行っています。

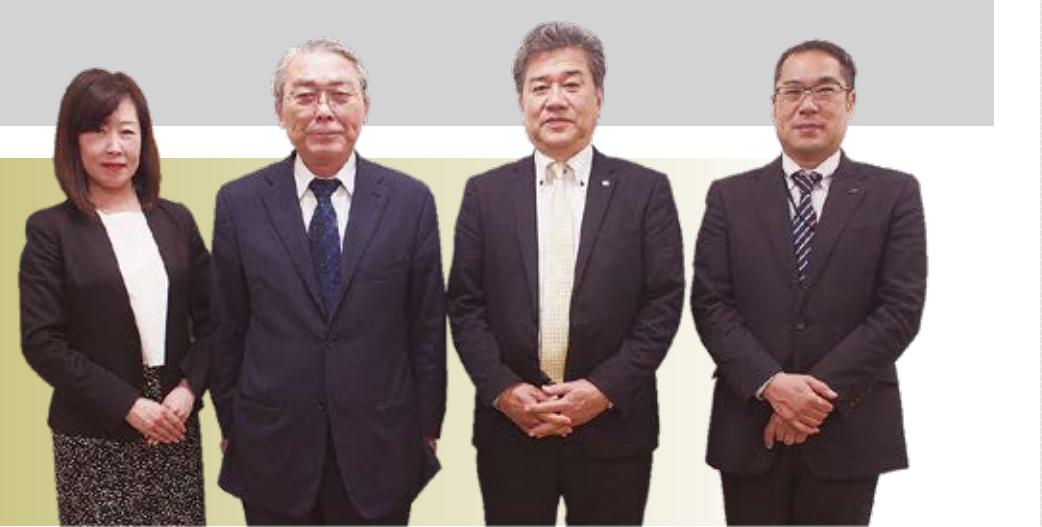
■砂川市立病院の課題と特色

砂川市立病院の特色と現状の課題をお聞かせ願えますでしょうか。

■小熊副会長

砂川市立病院の特色ですが、田舎代表っていうか、そういう想いはいつも持っています。田舎代表って言っても一応500床の病床数があります。札幌と旭川のちょうど

地域連携の力が 重要である



真ん中ぐらいにあって、東京特区と同じ広さが僕の中空知っていう地域です。そこに今人口が11万から12万ぐらいしかいません。東京都23区ほどの広さがあって、それで集落がぱつぱつ離れてて。昔は炭鉱が華やかだったときは、それぞれ市として市立病院を持っていましたけど、やっぱり炭鉱が閉山と共に人口も減ってきて、高齢化率も高く、今40パーセント超えています。

私は平成8年に院長になり、その頃はもちろん初期研修医なんていなく、医師は四十数人でした。今、研修医を入れて90人を超えてます。うちの場合は、研修の責任者をしてもらった副院長と、どういう目標を持って研修制度を行うかという話をしたときに、やっぱり救急に対して、プライマリーケアとしてある程度、診れる医者を育てようという話になり、それから全科が一生懸命になって研修医の指導に病院挙げて、体制を目指すということで始めました。

砂川市立病院は、どうやって医療スタッフを集めのか、医師やメディカルスタッフを集めのかが鍵になるなと思っています。中間層が不足しています。どこの病院も昔のその医師の定数ですよね、今でいう40代、40ちょっと下っていうところが、募集枠がすごく減ったのでどこも足りないんですよ、そういう人は、しかもその子育ての時期でしょ。大事な時期だから都会へ集中しているわけです。どこの病院もその40前後のまさに病院でバリバリやる年代が足りません。特に北海道は。

地域連携を随分密に図られているとお聞きしておりますが。

■小熊副会長

今ね、うちはインターネットを使って、情報は砂川市内の薬局、介護施設、それから開業の先生、全部見られるようにしています。一方が中心ですけど、そういうことをやって2年目かな。それから周りの市、中空知という先ほど言った人口12万から11万ぐらいのところで、市立病院同士が電子カルテになったので「そらねっと」といって、お互いに患者さんが同意してくれれば診療情報を全部見られるような仕組みにしています。

今後は、「そらねっと」を開業の先生とか、いろんなところと繋ぎたいと思っています。周りの市立病院や町立病院が電子カルテになったので、地域でいろいろ医療の在り方とか、医療と介護をどういうふうに繋げたらいいかっていうような話を繰り返しているうちに、方向性も出てきて何とか始まりました。「中空知」って上中下の中に、空でしょ。だからその空をとって「そら(空)ねっと」と言います。

もう一つは、「みまもリンク」という医療と介護ですね。これはうちに認知症専門の精神科医師の女医さんがいて、将来、認知症の患者さん増えるし、私やりたいけどやっていいかって言うから、何でもやれって言って。それでやったら今やもう全国的に有名になっちゃって。そういうシステムを作ったり、お年寄りを周りでボランティアも含めて助け合ったり、いろいろなネットワークができました。また3年ぐらいい前。うちの病院にあの地域包括ケア病棟っていうのを作りました。結局、砂川市には療養型の病院がないのと、回復期がなかったので。うちで急性期が終わったらみんな周辺のところへ頼んでいたわけです。だけど作ってみたら、それが地域の医療の必要性にもあってるし、いろんな慢性期型の病院や施設とも繋がるようになって、すごくやる気が出ているっていうか、非常にいい動きだなと思っています。

自分一人で医療はできないし、お互いに専門家の意見や技術を取り入れて、いい方向を目指すのが必要かと僕は思っています。賛助会は専門的な知識と技術の集団ですから。

自治体病院協議会も、病院がだんだん縮小していきますし、経営的に苦しい状況に追い込まれている。診療するにも医師の問題、医療スタッフの問題、それから我々はこの間も自治体病院ですから、自治体本体との関係もあります。はっきり言って、離島山村僻地から大都会のいろんな病院がある。さっきも言ったように病院以外のところの準会員もたくさんいるので、それをどうやっていくかっていう大変な問題を抱えています。何とかいい方向にお互い進んでくれればいいと思っています。

■賛助会へ望むこと

我々賛助会に望むことといいますか、大それていますけれども、こういうことをやればということがあればお聞かせ下さい。

■小熊副会長

我々としては医療を行うと思ったら、機器なり情報なり、いろんなバックアップが必要と思っています。特にうちなんか



「成り立ち」

当全国自治体病院協議会・賛助会は全国自治体病院協議会が1962年4月に設立されたのを受け、自治体病院の発展に寄与することを目的とし、1968年7月17日に病院関連の有志企業によって結成されました。

現在は130社(平成29年5月1日現在)が加入し協議会会員自治体病院に対し医療にかかる情報の提供、業務改善提案、学会、研究会、講習会、展示会等に対する協力等の事業を行っています。又、様々な行事を通じ会員相互の向上を図るために活動も積極的に行っています。

主な活動

- 1 定時総会(年次活動報告、収支報告、監査報告)
- 2 協議会との意見交換会
- 3 研修会(講演会、病院見学会等)
- 4 新春賀詞交歓会
- 5 全国自治体病院学会や地方学会への参加
- 6 協議会との情報交換会(協議会に対し最新事例や業界最新動向・情報を発信)
- 7 寄付活動(協議会及び学会へ)

平成29年1月12日(木)
新春賀詞交歓会



会場:ホテルルボール麹町
賀詞交歓会では、自治体病院協議会、自治体病院共済会からも多数のご参加を頂きました。
賛助会からは、今年も全国の自治体病院に役立つ活動を続けることが誓われました。

平成29年3月15日(水)
賛助金贈呈式



会場:剛堂会館(東京都)
賛助会から全国自治体病院協議会に対し、自治体病院の発展を願って、賛助金の贈呈式が行われました。

平成29年2月23日(木)
平成28年度第2回研修会



会場:鴨川スパ/ホテル三日月(千葉県)
研修会には、賛助会から多数の出席者を始め、全国自治体病院協議会、株式会社自治体病院共済会からも出席を頂きました。
研修会では、医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 院長 亀田信介 先生にご講演いただきました。

